



かわうち 河内ひとみの 区議会レポート

あらかわ元気クラブ

2023年春 第7号

発行：あらかわ元気クラブ

荒川区町屋7-5-13-303 TEL・FAX 3894-2581
ホームページ <https://genki-c.net/>

国民の生活を守るための 東アジア諸国との平和外交を！

新しい年を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

昨年のロシアによるウクライナ侵攻は、その影響がたちまち世界中に広がるグローバル社会の構造を浮き彫りにしました。

日本も電気やガソリンばかりか食料品などの値上げラッシュとなつて、食糧も外国に頼っている「食糧輸入大国」であることも明らかになりました。日本の食料自給率は37%の先進国中で最低で、農業を犠牲にして貿易の自由化を推し進めた結果です。

昨年6月、国連は『急性食料不安による早期警告』という報告で、「新型コロナウイルス拡大やウクライナ戦争の影響などにより、世界20カ国以上で深刻な飢餓が発生する」と警告しました。

日本もその一つになるかも知れません。しかし、岸田政権には「食の安全保障」の考えはありません。

昨年12月、岸田首相は「専守防衛」から「敵基地攻撃能力の保有」に転換し、今後5年間で防衛費（軍事費）をGDPの2%、5年間で43兆円にするとしました。財源は国民への増税です。

「専守防衛」であれ「敵基地攻撃能力の保有」であれ、軍事衝突のないようにするのが外交です。今回の「安保3文書」改正は、アメリカと同じように、岸田政権が中国を仮想敵と宣言したことに等しいものです。

軍事力による対抗が愚の骨頂であることは歴史が証明しています。岸田首相はアメリカの思惑で、隣りの中国と「事を構える」ことに何の違和感もないのでしょうか。

「食の安全保障」がなくては国民の生活はありません。「失われた30年」といわれ、コロナ禍によって国民経済が疲弊しているのに、軍事費増額のための増税などは大間違いです。岸田首相は「異次元の少子化対策」を表明しました。相変わらず「異次元」だの「骨太」などと大げさな言葉だけで中身はありません。ですが、防衛費や少子化対策の財源とする増税案はやたらと具体的です。

解散総選挙をちらつかせる岸田政権は「過半数を確保」で「信任を得た」として増税に踏み切るつもりでしょうから、そうさせないためにも岸田政権にNO！を突きつけなければなりません。

荒川区も同様です。悪政に抵抗し、今年を「新たな増税元年」にさせないためにも、国会ばかりでなく、地方議会からも増税反対の声をあげ、「自治体として区民生活をどう守るのか」を迫っていきます。

あらかわ元気クラブ

区議会議員

河内ひとみ



ひとみのひとりごと



- ◆正月は医療相談から始まりました。1月 日の新型コロナウイルス感染症による死者は過去最高の 人を記録
- ◆岸田首相は昨年9月26日から新型コロナウイルス感染者の全数把握を見直ししました。65歳未満の基礎疾患の無い人は陽性になった場合、自分で電子登録をすることになりました。街頭宣伝していると、スマホを持っていない、携帯電話もない人がいます。この人たちはあきらかに行政から取り残されます。
- ◆新型コロナウイルス感染症が2類から5類に区分された場合、医療費がかかります。3割の医療費負担で薬代が3万円、初診料や検査代もかかります。具

- 合が悪くても受診できない人が増えるでしょう。
- ◆国の医療政策は、公的病院の統廃合を進め、25年間で30.5万床も削減されました。しかも、コロナ禍の2021年、国会では「病床削減・病院統廃合法」という医療法の「改正」を与党などの賛成多数で可決されました。今後、15万から20万の病床が削減されることとなります。削減には、1床当たり最大で228万円補助金が付くのです。
- ◆荒川区は、女子医大移転によって大きな影響を受けています。令和あらかわ病院の開設が遅れています。入院が必要な区民の受入に早期開業を求めています。
- ◆区民の命を守るために、医療や介護の現場の声、利用者の声を届けていきます。

ご相談ご意見等お寄せください 03-3894-2581/メール hidamari_no3@yahoo.co.jp



すべての子どもを取り残さない！ 「子どもの権利条例」を作ります



荒川区は「子どもの権利条例」をつくるために、区民から広く意見を求める「パブリックコメント」を行いました。子どもの権利は親の出身地や国籍に関係なく守られなければならない。しかし、貧困、性別、出身地、国籍、障害等による差別や制限は後を絶ちません。私は子どもたちの権利が守られて、安心した生活ができるような地域をつくるためにも、よりよい条例ができるよう、荒川区へ働きかけていきます。

区立幼稚園の廃園に反対です！



区立幼稚園の存続を希望する要望書のは主旨採択となりました。教育委員会は、保護者の意見をしっかり聞くという態度が見られません。区立幼稚園しか受け入れができなかった特別支援の必要な子どもたちの行き場所が遠くなることは子ども達への負担がかかります。きめ細かな預かり保育など問題が解決しなまま「廃園ありき」で物事を進めてはいけません。地域住民や保護者が納得する議論の必要性を9月議会で訴えました。

後期高齢者の負担増に反対します！

- 昨年10月から年収200万円以上の後期高齢者の医療費窓口支払い1割→2割負担
 - 24年介護保険改正→介護保険料引き上げ
 - 後期高齢者保険料の引き上げが24年には年収211万円以上、25年には年収153万円以上に実施！
- 都内の消費者物価指数は4%超えです。社会保障を値上げするということは医療や介護サービスを受けられなくなることにつながります。



年金では生活できない！
預金もなくなってきた！
これ以上どうやって支払うの！

来年度の3歳児クラス編制は必要です！

来年度募集では、定員7人未満の公立幼稚園は、南千住第3幼稚園、町屋幼稚園、尾久幼稚園、東日暮里幼稚園、汐入こども園の短中時間が該当します。7人未満の園はクラス編制をしません。現在特別支援の必要な子どもたちは全園で99人です。廃園予定に入園中の子供たちは55人います。他の人数の多い園に移動となった場合、きめ細やかな手厚い幼児教育ができるのでしょうか。こども達や地域住民にとって大きなマイナスです。少人数だからこそ公立の幼稚園の存続が必要です。



小規模事業者・フリーランスの経営と生活を脅かすインボイス制度に反対します！

STOP!
インボイス

インボイス制度は年商・年収1000万円以下の小規模事業者・フリーランスに新たに税金を課すための税度です。経営基盤の弱い事業者を守るためにつくられた「免税点制度」を政府自ら壊す制度にほかなりません。私は、このような苛酷な制度に反対しています。いますぐに登録する必要はありません。義務もありません。資料がありますので相談してください。

職種：アニメーター豊島区在住、40歳（実在の人がモデル）

売上（年収）	3,000,000	① <ウーバーイーツの配達員>
経費	360,000	② 完全歩合制
消費税（簡易課税）	136,200	③ 月収は多くて20万円
所得（①-②-③）	2,503,800	④ 年収240万円～300万円
国保・介護保険料	315,560	<個人タクシー>
税所得税	77,000	▪ 全国平均年収340万円
住民税	160,800	<委託ドライバー>
国民年金	199,080	▪ 宅配大手5社
合計	752,440	⑤ 年収300万円～480万円
税引後所得（④-⑤）	1,751,360	
月額（税引後所得÷12）	145,947	

2023 春のつどい

サンパール荒川 小ホール3F
2023年2月18日（土）
19:00-21:00
資料代：500円

介護保険料
値上げ！？

介護サービス2割
負担の所得基準の
見直し拡大！？

●河内ひとみの区政報告と課題

●講演会 どうなるの？介護保険制度 ～24年改正介護保険実施のゆくえ～

講師：結城康博さん
1969年生まれ。淑徳大学教授。
社会保障審議会介護保険部会委員。
テレビコメンテーターとしても活躍中。
著者『高齢者は暮らしていけない』
『介護職がいなくなる』
『社会福祉原論～人口減少社会を見据えて』等



参加希望の方は、電話かメールでお申し込みください。
TEL/FAX 03-3894-2581・メール hidamari_no3@yahoo.co.jp

生きられる町、暮らせる政治を！
医療福祉の現場で四十年！



荒川区議会議員
看護師・ケアマネジャー
河内ひとみ

1961年2月静岡県西伊豆町出身●静岡県立松崎高校卒●静岡市立看護専門学校卒●日本医科大学付属病院就職後、荒川区訪問看護事業、「みやまえ訪問看護ステーション・訪問看護ステーションみどり・くまのまえ訪問サービスセンター・NPO法人ケアサポートひだまり」所長●自治労東京労働組合「地域福祉ユニオン東京」書記次長●令和4年度福祉・区民生活委員会●財政援助団体調査特別委員会